資料保存と補修の基礎

神戸大学附属図書館　小村 愛美

1

- 自己紹介
  2009年～　大阪大学附属図書館
  2012年～　神戸大学附属図書館
- 資料保存への関心
  〇研修受講、文献、自己研鑽
    NPO法人 書物の歴史と保存修復に関する研究会(http://www.npobook.join-us.jp/)
  〇実務
    破損資料・虫害・カビ害

2

- 資料保存への関心
  〇講師経験
    ・「資料保存の基礎を学ぶ」
      大阪大学附属図書館 (2012.12)
      http://www.slideshare.net/itsumikomura/20121206-15518395
    ・「本の歴史～形態の移り変わりを概観する～」
      図書館問題研究会 兵庫支部(2013.9)
      http://www.slideshare.net/itsumikomura/0930tomonkenhyogo

3

資料保存の基礎

- 目的：長く利用する
  現在と将来の利用者に利用を保証
- ポイント：資料の劣化要因
  対策の優先順位 ①予防的対策
  ②劣化後の対策

4

資料の劣化要因

- 内的要因
  〇酸性紙
  〇記録媒体の素材
  〇製本・構造
  〇経年劣化

①保存箱・脱酸処理
予防製本
ドライクリーニング
②補修・修復・再製本

- 外的要因(保管環境)
  〇温度と湿度
  〇光
  〇塵・埃・生物被害
  〇大気汚染物質
  〇水害・火災・地震

①温湿度の管理
光(紫外線)制御
清掃・施設・環境点検
災害対策
②害虫・害獣・カビ駆除
災害被災資料の修復

5

資料の劣化要因

- 外的要因(人的環境)
  〇誤った取扱い
  〇配架上の問題
  〇複写
  〇利用頻度
  〇不適切な製本

①職員教育・利用者教育
適切な排架
学内・図書館間・専門家との協力
②補充・代替購入
廃棄
収容スペース増設

6

補修の位置づけ

- 内的要因
  - ○酸性紙
  - ○記録媒体の素材
  - ○製本・構造
  - ○経年劣化

①保存箱・脱酸処理
予防製本
ドライクリーニング
②補修・修復・再製本

- 外的要因(保管環境)
  - ○温度と湿度
  - ○光
  - ○塵・埃・生物被害
  - ○大気汚染物質
  - ○水害・火災・地震

①温湿度の管理
光(紫外線)制御
清掃・施設・環境点検
災害対策
②害虫・害獣・カビ駆除
災害被災資料の修復

補修の位置づけ

費用対効果

保存方針　計画　実行組織
温湿度管理　災害対策
点検　排架　清掃
職員・利用者教育

事前製本
クリーニング　保存容器　媒体変換

補修　専門的修復
買い替え　廃棄

予防的対策

劣化後対策

研修後も続けるために

- 資料保存の原則を学ぶ
- 原則＝全体的・抽象的
- 判断「基準」になる
- 原則⇔実情（人員・時間・予算）

　→　自館に合った資料保存

参考資料

- 文献

◇IFLA 図書館資料の予防的保存対策の原則(1998年)
http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/iflapac/pdf/careandhandling.pdf
◆資料保存の調査と計画／安江明夫／日本図書館協会／2009
◇りーふれっと資料保存 - 日本図書館協会 資料保存委員会
http://www.jla.or.jp/portals/0/html/hozon/leaflet.html
◆西洋古典資料の組織的保存のために[改訂版]／増田勝彦,岡本幸治,床井啓太郎／一橋大学社会科学古典資料センター／ 2010
http://hdl.handle.net/10086/18610
◇図書館員のための図書補修マニュアル／小原由美子／教育史料出版会／2000
◆防ぐ技術・治す技術—紙資料保存マニュアル／日本図書館協会／2005

参考資料

- Webサイト・研修

◇日本図書館協会　資料保存委員会
http://www.jla.or.jp/committees/hozon/tabid/96/Default.aspx
◆国立国会図書館｜資料の保存
http://www.ndl.go.jp/jp/aboutus/data_preservation.html
◇国立国会図書館遠隔研修「資料保存の基本的な考え方」
https://ndl.secure.force.com/　(開講期間あり)

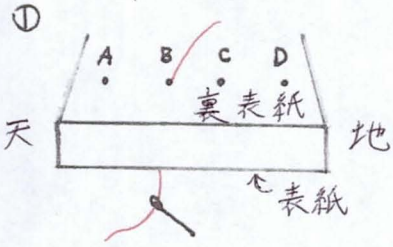
ご清聴ありがとうございました

- ご質問

komura@dolphin.kobe-u.ac.jp

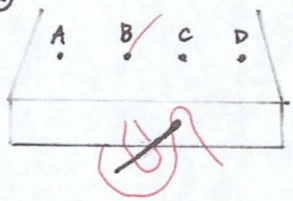
四ツ目綴じ

①



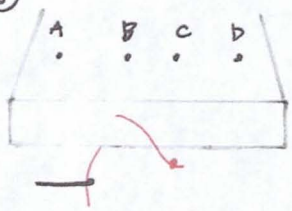
Ⓑの穴に上から糸を通します。

②



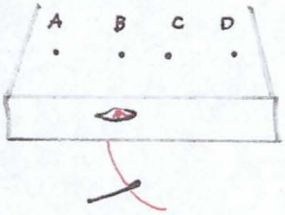
背の間から糸を引き出して端をたぐり出します。

③



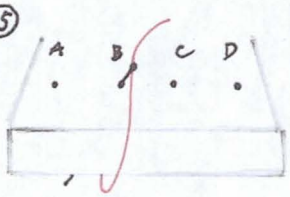
糸の端にダンゴを作り、のりをつけます。

④



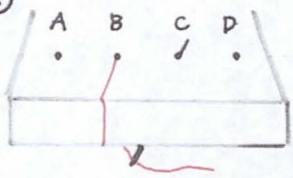
糸を引、張り、端のダンゴを本の中に隠します。

⑤



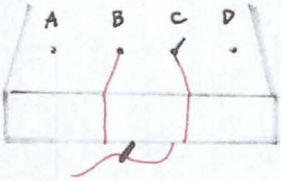
Ⓑの穴に再度、上から糸を通します。

⑥



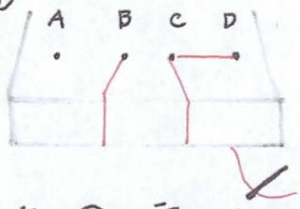
次にⓒの穴に下から糸を通します。

⑦



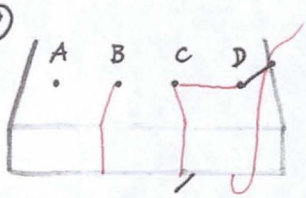
再度、ⓒの穴に下から糸を通します。

⑧



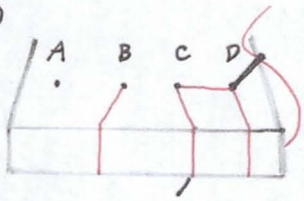
次にⒹの穴に上から糸を通します。

⑨



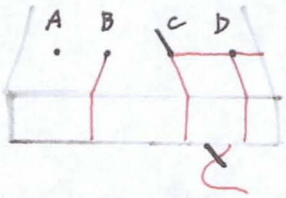
もう一度、Ⓓの穴に上から糸を通します。

⑩



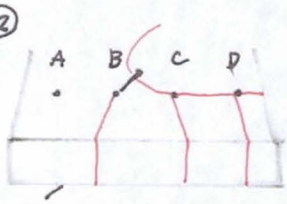
次に、本の下側に糸を寄せてⒹの穴の上から糸を通します。

⑪



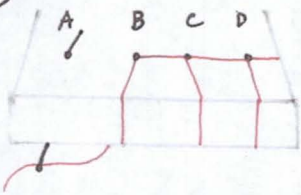
ⓒの穴の下から糸を通します。

⑫



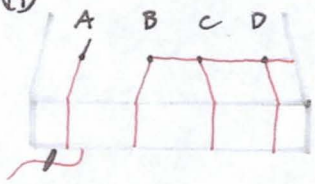
Ⓑの穴の上から糸を通します。

⑬



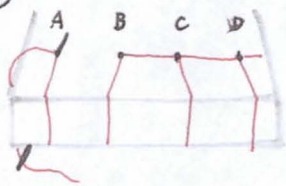
Ⓐの穴の下から糸を通します。

⑭



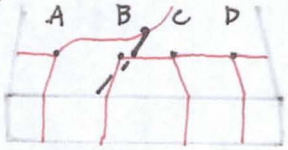
もう一度Ⓐの穴の下から糸を通します。

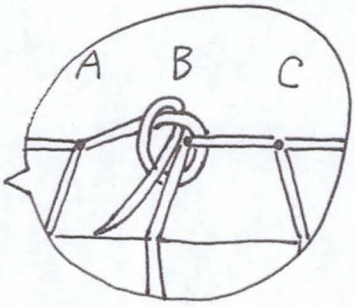
⑮



本の上側に糸を寄せてⒶの穴の下から糸を通します。

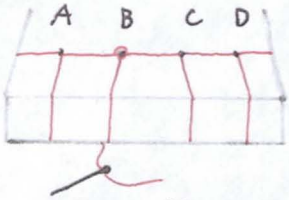
⑯





最後に糸の止めです。針を図のように通していきます。

⑰



しっかりと結び目を締めたら少しのりを塗り、表まで糸を通して切ります。